

平成 30 年度 市川市健康都市推進協議会会議録

1. 開催日時： 平成 31 年 2 月 6 日（水） 14 時 00 分～15 時 30 分
2. 会 場： 市川市役所 仮本庁舎 5 階 理事者控室
3. 出席者（敬称略・五十音順）

【座 長】

和洋女子大学 教授 藤澤 由美子

【委 員】

市川市医師会	理事	岩澤 秀明
市川市歯科医師会	会長	石井 広志
市川市薬剤師会	常務理事	寺澤 千恵子
千葉県市川健康福祉センター	センター長	坂本 泰啓
いちかわライフネットワーククラブ	理事長	青山 真二
市川市民生委員児童委員協議会	会計	後藤 久子
市川市健康都市推進員会	会長	栗岡 喬
市川市保健推進協議会		加藤 道子
市川市食生活改善推進協議会	会長	石黒 裕子
市川市スポーツ推進委員連絡協議会	会長	高橋 勲
市川市体育協会	会長	清水 輝和

【市川市】 岩井保健医療課長、他担当職員 4 名

【傍聴者】 0 名

会議内容

【岩井保健医療課長】

皆さんこんにちは。定刻となりましたので、平成30年度市川市健康都市推進協議会を開始いたします。本日司会を務めさせていただきます保健医療課長の岩井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、市川市自治会連合協議会の滝沢委員及び市川市教育委員会の後関委員から所用のため欠席のご連絡をいただいております。

また、会議に先立ちまして、配付資料の確認をさせていただきたいと思います。お手元に次第と、資料1から8までをお配りさせていただきます。右上に番号が振ってあると思いますが、いかがでしょうか。もし、過不足があるようでしたら、挙手をお願いできればと思います。

その他に啓発品ということで、使い捨てカイロ、ポケットティッシュ、うちわとチラシ関係をお手元に置いております。これにつきましては後程ご覧いただければと思います。

続きまして、次第に入りますと、まずは挨拶ということになっておりまして、本来ですと保健部長である鹿倉からご挨拶するべきところなのですが、本日は所用がありまして急遽出席することが出来なくなりました。そこで鹿倉よりメッセージを預かってまいりましたので、代読をさせていただいてから、会議に入りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

「本日は、お忙しいところ、足元の悪い中、お集まりいただきましてありがとうございます。日頃より、健康都市推進事業について、ご理解、ご協力いただきありがとうございます。本協議会は、平成28年度に策定し、推進しております市川市健康増進計画「健康いちかわ21」についての進捗管理を主なテーマとして会議を進めているところです。「健康いちかわ21」に示された健康課題や課題解決のための事業につきましては、多くの関係部署において推進しておりますことから、連携を図るために現在、各所管の担当者が集まる庁内プロジェクト会議におきまして各事業の進捗状況について情報共有しながら効果的に事業を推進するよう努めているところであります。本日は、庁内プロジェクト会議の報告を行いまして、委員の皆様からご意見をいただき、いただきましたご意見につきましては、次回の庁内プロジェクト会議にフィードバックをいたしまして、今後の事業推進の参考にさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。」というメッセージを預かってまいりました。

続きまして、次第2の議事に入りますが、進行につきましては、昨年に引き続きまして、藤澤委員にお願いしたいと思いますが皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

それでは皆様にご賛同いただきましたので藤澤委員にお願いしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【座長】

皆様、改めましてこんにちは。和洋女子大学の藤澤と申します。よろしくお願いいたします。

今年初めての健康都市推進協議会ですけれども、いろいろなご意見を伺って役立てていければと思っていますので、どうぞご協力お願いいたします。

それでは、本年最初の会議で新しい委員の方々もおられますので、最初にご所属、名前等を自己紹介していただければと思っております。岩澤委員からお願いいたします。

(各委員自己紹介)

ありがとうございました。

それでは、事務局から会議録の公開についてご説明をお願いします。

【岩井保健医療課長】

会議録は、ホームページで公開しております。この会議録は、意見を集約したものでありましてお名前も入れさせていただきます。なお、公開に際しましては、各委員のご意見の部分につきましては、各委員の方に、全体の部分に関しましては、座長の藤澤先生にそれぞれご確認のうえ、公開をさせていただきたいと思っております。

また、会議の開催状況を、ホームページや市の刊行物等で公開するために、写真を撮影させていただきたいと思いますが、これらについて皆様よろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございます。

【座長】

よろしいでしょうか。ご了解ください。

それでは、資料1の「市川市健康都市推進協議会の運営に関する要綱」について事務局より説明をお願いいたします。

【岩井保健医療課長】

資料1をご覧ください。「市川市健康都市推進協議会の運営に関する要綱」についてになります。第6条「謝礼の支払い」につきまして、昨年4月1日より変更しております。本協議会では、健康都市に関する取り組みの他、「健康いちかわ21」のご意見をいただく場としております。これまでも皆様の各団体のご紹介を兼ねてやっていたところなのですが、今申し上げた「健康いちかわ21」に関するご意見をいただくというところが今までよりも比重が多くなったため、今までの報酬が5,000円だったところを、市川市の他の審議会の報償費の基準額と同等の金額9,100円に変更したということになります。説明は以上になります。

【座長】

何かご質問等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは議事の方に入りたいと思います。

まず議題1、「健康いちかわ21（第2次）」進捗報告」について事務局より進捗状況について説明をお願いします。

【事務局】

皆様、こんにちは。本日説明をさせていただきます事務局の保健医療課の中川と申します。お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

お手元の資料と前のスクリーンもご覧になりながらお聞きいただければと思います。

「健康いちかわ21（第2次）」は策定から3年が経過いたしました。

すでに、昨年度までの会議でご説明をしておりますが、本計画で推進する事業は他部署にわたっており、関係部署で連携・協力を深めるために、庁内の推進部会及びプロジェクト会議を実施しております。そして庁外の機関として本協議会からご意見をいただき、出された意見を推進部会やプロジェクト会議でフィードバックし、より効果のある事業や施策について検討を行ってまいります。

資料2の平成30年度「健康いちかわ21（第2次）」庁内推進部会・庁内プロジェクト会議報告書をご覧ください。

会議構成メンバーは、お手元の資料をご覧ください。

8月1日に関連部署の課長及び担当者が集まる庁内推進部会を行いました。

関係事業の状況報告を行い、平成29年度の実績について、事業評価シート及び事業

連携シートを配付し、特に連携シートからは、8課において他課との連携が行われたことがわかり、各課が連携・協力出来ていることがわかりました。今年度は、シートを少し見やすく修正し、引き続き連携・協力を図るために活用していきます。

また、昨年度に開催された本協議会で委員の皆様から出されたご意見を報告いたしました。その他、各課から、今年度の新規事業や重点事業についての発表を行い、関係事業の情報共有を図りました。

次に、本計画の評価について、共通認識を図るために基本目標に対する評価と今後の中間評価に向けてという内容で説明を行いました。

基本目標に対する評価についてですが、基本目標となる「健康寿命の延伸」に関する評価として、毎年度、e-モニターアンケートを利用し、市民の健康度に関する意識や健康づくりへの取り組みの状況を確認していきます。

今年度のe-モニターアンケートの結果については、後程説明いたします。中間年度となる平成32年度には、前期計画期間の取り組みの評価を行い、市民の健康状態を客観的に見ていくためのデータを分析していきます。具体的には、疾患別医療費や死亡率の状況、要介護認定者の数と要介護となった原因疾患について等を評価の指標とすることを検討しております。さらに、市民の健康状態・健康意識についての郵送によるアンケート調査を行う予定です。

今後の計画の推進および評価についてですが、前のスライドでもお話いたしました、中間評価を行うために、毎年度のe-モニターアンケートと平成32年度に無作為抽出・郵送による市民アンケートを行う予定です。アンケート実施のために、質問項目について等、プロジェクト会議で各課からの意見・要望を確認し内容を検討していきます。また、評価指標となるデータについても、各課が情報提供し、必要に応じて計画を見直し、後期の取り組みにつなげていきます。

ここで、健康寿命の算出について、補足説明をいたします。「健康寿命」とは、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」、「健康な状態で生きられる寿命」と定義されています。健康寿命の算出方法はいくつかありますが、国では、3年毎に実施する国民基礎調査のデータを用いて算出しています。

国は市町村別の健康寿命のデータを算出していないため、「健康いちかわ21(第2次)」では、千葉県が公開している市町村別の65歳の平均自立期間を指標とし、これに65歳を足した数字を健康寿命として算出しています。

この平均自立期間は介護保険の要介護認定のデータや死亡率等から算出しており、日常生活動作が自立していることを「健康な状態」、要介護度2~5を「不健康状態」と想定しています。

これは、先程説明しました、千葉県が公開している市町村別の65歳の平均自立期間を指標として、市川市の健康寿命として算出した年次推移です。千葉県と全国のデータについても、同じ方法で算出して、比較したグラフになります。国のデータは3年毎のデータのみとなります。

左側が男性、右側が女性の健康寿命の推移となります。市川市をみると、男性は平成24年に少し下がっていますが、24年以降は上昇傾向にあります。女性は、平成22年から24年まで下がっていますが、24年以降は上昇しています。男女ともに、千葉県・全国と比べると1歳位の範囲内ではありますが、市川市が少し低い状況です。

これは、国が3年毎に算出している健康寿命です。最新データは、2016年で、男性72.14歳、女性74.79歳となっています。平均寿命と健康寿命の推移をみると、男女とも、平均寿命と健康寿命ともに延びていますが、平均寿命と健康寿命の差があまり縮まっていないことが課題とされています。「健康いちかわ21(第2次)」では、中間評価として、市民へのアンケート調査を行う予定としておりますので、その調査で国と同様に「日常生活に制限のない期間の平均」や「自分が健康であると自覚している期間の平均」のデータ等を収集して、検討、算出したいと考えております。

次に、毎年度の健康度の評価指標としている、e-モニターアンケートの結果について、説明いたします。

お手元の資料5をご覧ください。平成31年1月11日から1月24日に実施した「市川市e-モニター制度」を利用した市民アンケートの結果になります。本日は、結果の一部を抜粋してご紹介させていただきます。

質問項目については、毎年度の結果の比較ができるように変えておりません。昨年度と比較して、回答者の年代の比率等は昨年と大きく変わりはありません。一つ目の質問の「過去1ヵ月の健康状態について」ですが、「とても良い、まあまあ良い」と回答した人を合わせた割合は昨年と比べ男女とも少なくなっており、「あまり良くない」と回答した人の割合が男女とも昨年度より増加しています。回答の理由をこのアンケートでは求めておりませんので、増加した原因はわかりませんが、直近2年間は「あまり良くない」と回答された方の割合が増加傾向のため、次年度は回答の理由を加えることも検討していきたいと思っております。

次に、「野菜の摂取量に関する質問」では、男女とも1皿分と回答した割合が減っていますが、野菜の摂取量は、増加傾向にあると思われます。女性の2皿分と回答した割合は、昨年より少し減っておりますが、男女とも3~4皿分と回答した割合が多くなっております。

次に、「地域活動への参加」についての質問ですが、年代が高くなるとともに、地域

活動への参加者が増えています。30～50代までは、「参加しようと思わなかった」と回答するものが多く、市川市の特徴といたしまして、若い年代は、転出入の方が多いため、地域とのつながりも薄く、地域活動への参加希望も少ないことが考えられるのではないかと思います。

次に、喫煙に関する質問ですが、「以前は吸っていたが、やめた」という人が、男女とも増えており、喫煙者の割合は男女とも減少しています。

e-モニターアンケートの結果は以上になります。

次に、庁内プロジェクト会議の報告になりますが、資料2を再度ご覧ください。

第1回プロジェクト会議を12月14日に行いました。

(1)平成30年度「健康いちかわ21」の進捗報告ですが、各課事業の進捗及び連携状況について報告いたしました。資料3、4をご覧ください。

資料3の事業連携シートの1ページ目ですが、「他課の事業の周知が可能な事業」を一覧表にし、各課で連携・協力するための参考といたしました。また、2ページ目は「他課へ周知を依頼した事業」について、協力した課および周知した内容などを記入し、連携できた実績を確認できるようにしています。

次に、資料4の事業評価シートですが、各事業のPDCAを記入し、事業の評価を行っています。CとAについては今年度末に記入していきますので、空欄になっております。

(2)中間評価に向けての今後の予定についてですが、各課が協力して中間評価に取り組んでいくことを再確認いたしました。

(3)健康都市連合日本支部加盟市の取り組み紹介として、先進的な取り組み事例を情報共有いたしました。

(4)第3次市川市食育推進計画についてですが、食育推進計画は、「健康いちかわ21」関連計画でもあり、食に関する課題や関連事業は他課にわたっているため、食育計画について主要な事業を行っている担当から情報提供を行いました。

(5)グループワークですが、関連課の取り組みについて情報交換することで、より効果的な取り組み方法・手段を検討いたしました。特に共通の視点である、無関心層への取り組みについて意見交換を行い、取り組みの中で効果の得られた事例について等発表がありました。

今年度の第2回目のプロジェクト会議を、3月14日に予定しており、高齢者の健康づくり、介護予防について等の内容を行っていく予定です。

プロジェクト会議の報告は以上になります。

【座長】

ありがとうございました。詳しくいろいろお話いただきましたけれど、いくつか項目

を分けてご意見をいただければと思います。最初に庁内推進部会のところでe-モニターアンケートの結果ですとか、最初の基準となる健康寿命等のお話が出ましたけれども、その辺のところでは何かご質問等がございますでしょうか。いかがでしょうか。

【高橋委員】

このe-モニターアンケートの1日あたりどれ位の野菜を採っていますかという設問がありますよね。この1皿、2皿ってどんな風なイメージなんですか。1日当たりと言いますが、人間は毎日普通食べるのが常識ですよね。今日は食事をしなかったけれども、明日は1.5倍で昨日の分を食べたとかバランスが悪いじゃないですか。

【事務局】

皆さんたまたま食べない日があったり、多かった日もあったりだと思いますので、受けての側の個人差もあると思います。アンケートをとる時に、設問として、「あなたは1日あたりどれ位の量の野菜をとっていますか。小鉢（小皿）の野菜料理を1皿分（約70g）、大皿の野菜料理を2皿分と数えます。」ということで、そういった記載をしてどのくらいを1皿分と数えてくださいというようなことはアンケートをとっている時に注釈として載せております。日によって差はありますが大体その方が日にどれくらいとっているかということに聞いております。

【高橋委員】

ありがとうございました。

【事務局】

ここでは、厳密な量までは求めていないのですが、3皿分4皿分と回答した方の割合が増えていますので、やはりこちらの「健康いちかわ21」もそうですけれど、食育計画の食育推進の関係ではやはり野菜を多く食べましょうという推進を図っておりますので、野菜を食べようという意識は、若い方には少ないとは思いますが、やはり年代が高い方にはどんどんそういう人が増えてきて割とこういう結果になったのではないかと思います。

【高橋委員】

はい、ありがとうございました。

【石井委員】

今の関連でe-モニターについてですけど、有効回答者人数1,185名ということですけど、まず、e-モニターの登録者数がどの程度で、そのうちの1,185名かということと、

その他のアンケートが毎月1回か2回位でアンケートが来るかと思うのですが、他の有効回答者数に比べてどうなのか。

要はいわゆる市民が健康に関するアンケートという項目に対してどの程度の人間が反応を示したかということが知りたいのですが、データがありましたらお願いします。

【事務局】

登録者数はおおよそ4,000人位というような数です。他課でとっているeモニターアンケートと比べて保健医療課がとっているアンケートの回答率がどの程度なのか、という比較ですよね。他課のeモニター制度を使った「自転車保険の加入状況のアンケート」というものがあるのですが、それは有効回答者数1,325名回答しておりますので、こちらの保健医療課でとった市民の健康に関するアンケートは1,185名ですので、それほど大きく差はないのではないのではないかと、今1つの事例しかありませんけれど、そう思われます。その他も今確認したところ、だいたい1,200前後の回答数だということなので、おおよそ回答している方は4,000人の登録数の中で、その前後の人が回答していると思われます。

【座長】

ありがとうございました。

人口構造上ですね、例えば市川市の10代は何人というそういう風な割合と、eモニターの構成のバランスはどうか。

【事務局】

eモニター制度に登録している方の年齢構成ということですね。

【座長】

年齢構成が市川市民の年齢構成と合っているかどうか、構成が違っていると、例えば、ここでは40代50代の人たちの割合が全体として多いのですけれど、市川市民は40代50代の人たちの割合が多いのですか。答えた人の割合がそうだとその人たちの意見になってしまう、例えば、年配の人の割合が多ければ年配の人の意見が反映されていないとかそういう風になるのかなと、これを見るとそう思える。

【事務局】

おっしゃる通りだと思うのですが、eモニター制度はやはりパソコンやスマホを通じた操作が必要ですので、割と高齢な方の加入・登録は少ないと思いますので、この回答状況を見ても、40代50代が多くなっているというのは、そういった年代の方が登録しているのが多いと思いますし、市川市の年齢人口構成については、今日、資料を出して

おりませんが、高齢化人口は年々高くなっておりまして、年少人口が少なくなっているというのは全国的なものであると思いますし、市川市もそうですが、その比率と合わせるとどういった状況か、というところを今後いろいろ見方を検討していきたいと思えます。

【座長】

一般的な調査の単純な数値に年齢調整をかけるような集計をおこなってみるともっとはっきりと傾向が出てくるかもしれないし、市川市の状況をデータでも反映できるようになると思います。

【事務局】

ありがとうございます。確かにすごく回答数も少ない年代もありますので、すごいパーセンテージが上がってしまったり、ということもありますし、今、ご助言いただきました通り年齢調整を加味した統計を出せればというところがありますので、これから勉強していきたいと思えます。ありがとうございました。

【座長】

その他、いかがでしょうか。それでは、もう一つの方、事業評価シートあるいは連携シートの方を細かくいろいろな連携をとっている、あるいはいろいろな事業を行っているということがわかりますが、そちらで何かご質問等ございますでしょうか。

それでは、事業評価シートの方で、例えば予算額がそれぞれ細かく記載がありますけれども、予算の元々のところでは縮小傾向があるのか、あるいはそちらにこれまでよりも費用をかけてそちらに力を入れているとかそういうところはございますでしょうか。

【事務局】

こちらは各課が予算額を記入しておりますので、厳密には、細かいところで多少増減はあるかもしれませんが、各課からは主要事業等についての発表をしていただき、そこでもし予算をすごく増やしてやっていますとかいう発表を聞けばそういった認識もできるんですが、元々推進している37事業の中で、あまりそういった直近1~2年で予算額が大きく増減があった事業は確認はしていません。

【座長】

ありがとうございました。何かご意見ございますでしょうか。

【岩澤委員】

連携ということなんですけども、市の産業医を務めさせていただいているんですが、

産業医の事業の中で、市としてはこういう事業、「健康いちかわ21」という事業を市役所が市民の方に向けていろいろとアピールしているという説明をしたらですね、あまり認知されていないようなので、せっかくなにかいいことをやっているのですから、市役所内部の皆様の中でもこういう「健康いちかわ21」という取り組みをしているということを知り得る何かしらの方法があるのではないかと考えています。

【事務局】

ありがとうございます。今、お話いただいた「健康いちかわ21」の中ではいろいろな健康増進に関連した事業を行っていますが、「健康いちかわ21」ということを推進しているということ自体も市民はあまり目にしていないという声をやはり聞いています。私たちとしてもなるべくいろいろなところで機会があればと思っておりますが、なかなか認知不足と思っています。昨年度は広報をやはり見ている方が多いというのがいろいろな講座の申込みなどで分かっておりますので、広報いちかわに特集号として1回、「健康いちかわ21」を特集したこともございましたけれども、今年度にわたってはそこはできておりませんし、まだまだいろいろなところで、「健康いちかわ21」の中の1つ1つの具体的なこと、例えば食事のことだったら食事のことなど、市民の皆様にはいちばん周知したい部分をうまく「健康いちかわ21」と絡めてPRして皆様にもっとわかりやすくご説明する場を増やさなければいけないのではないかなとやはり私の方でも感じております。ありがとうございます。

【座長】

ありがとうございました。その他ありますでしょうか。

【清水委員】

今、先程予算額がここに書いてあり、どうなのかという話もありましたけれど、やった内容を見ますと、チラシの配布ということで、かなりの件数のチラシの配布ということでやっていると思うのですが、これは、各部署でチラシを作ってやっているわけでしょう。そうすると、そのチラシを印刷させている業者さんもバラバラということなのですか。

【事務局】

資料3の見方がちょっとわかりづらかったかと思いますが、左側に各事業名があります。その事業は色々な相談事業だったり、検診事業だったり、健康教育の場であったりということで市民が来る事業になります。そういった場で他の課が行っている講座等のチラシを配ったり、周知ができるという事業がこの左側に並んでいる事業になっております。

この事業に関して、この右側にはどのような方法でチラシの配布を行うかといった周知方法を記入したものがこの1枚目になっております。

2枚目を見ていただくと、左側の事業に対してですね、真ん中あたりに連携した課というところが見えづらいのですが書いてあって、その隣に連携内容と書いてあります。

例えば、一番上の健康マイレージ事業というのがありますが、この健康マイレージ事業について連携した課が、ここを見ると国民健康保険課・スポーツ課・疾病予防課・健康支援課という風に並んでおりますが、こういった課に保健医療課から依頼をして健康マイレージ事業について市民の皆さんに広く周知してほしいということで協力を依頼したのがこれらの課であって、内容としては、「三師会への送付物ヘリーフレットの同封」、「市民まつりの国民健康保険課のブースで周知してもらった」という実績が右側に書いてあります。

連携シートはこういった見方ですが、何故こんなことをやっているかということ、この計画を策定し、プロジェクト会議を立ち上げた時に、どうしても市役所内の事業というのが縦割りで、同じ健康増進という一つの目標に向かっていても各々の事業のことにしか中々目がいかなくて、他の課でやっている事業についてを関連のところで周知をすれば、より市民への周知ができるのではないかとというところがありました。

それをこのプロジェクト会議に参加している課で協力して様々な年代の人に広く周知するためには、子供関係の課だったり、介護とか福祉に関する場であったり、それぞれの課の事業ではあるけれども周知に協力しましょうということで投げかけをして、その実績としてどれくらいの課に投げかけてそういった周知が図れているかを見るために、連携シートを作って実績を確認していくということで使っているところです。

これについては、2年目、3年目になってきまして、連携している課がすごく増えました。各課が気軽にプロジェクト会議のメンバーや他課に声をかけて、こちらではこういった講座をやります、こういった集まる場をやります、是非、周知をお願いします。というような声掛けをするようになりましたが、市民の多くの方から聞くのは、「そういったことを知らなかった」、「周知がされていなかった」というような声が多いので、広く周知を図ることが一番大切と感じております。

この連携シートについてはわかりづらかったと思いますが、そのような形で利用しております。以上です。

【清水委員】

わかりました。かなりチラシをいろいろなところで作っていて、例えば、こういったものもそうだと思うのですが、こんなにチラシを作ると予算的に見積合わせをして、業者が違っていれば安いところにまとめて発注するからもっと安くしてくださいというのはできるのか。だからこれ予算額を見るとかなりの金額のものが、何千万というものもありますよね、確か。

【事務局】

そうですね。事業規模によっては大きな事業がありまして、印刷の費用だけでなく全部の予算が入っていて、その1つの事業すべての予算額になっていますので、かなり大きな金額にはなっています。

【清水委員】

でも、これだけかなり部数も多いのでしょうかけれども、印刷代もばかにならないと思うので。

【事務局】

そうですね。ですので、やはり効果のある周知をしていかないといけないと思います。これに関しては各課が自前で印刷をしたりするところがほとんどです。業者に頼んで、例えば今日先程お配りしましたツデーマーチみたいなものはですね、担当の課の所が委託をして、印刷会社という形だとは思いますが、それ以外のチラシ配布は、自前で作って各課で印刷をしてというところが多いと思います。

【清水委員】

はい、わかりました。

【坂本委員】

チラシということで、30代、40代、50代の人にイベントがあれば風疹ワクチンの啓発ができればと思いますので、ご協力をお願いいたします。

【事務局】

そうでしたら、今日のグループワークのところの資料の中に少し入っていたかと思うのですが、若い男性への周知というのはなかなか機会がない。

この健康増進の関連課の中では、健康支援課が妊婦を対象にしている講座を持っており、両親学級というものだったり、パパママ栄養講座だったりというところで、これから子供を産み育てる20代、30代、40代の方々が主に参加される講座なので、栄養のことだけではなく、皆様方のご両親の体の健康に関するお知らせをしたり、そういったことも是非入れましょうということで、そういう周知もしてきておりますので、もしそういった部分でご利用がありましたらさせていただけるとと思いますので、よろしく願いいたします。

【石井委員】

今、チラシの件で話が出ておりますが、先程の説明の中で広報いちかわという文言が出たかと思いますが、我々が何かイベントをする時にチラシや広報いちかわを利用していくんですけども、実際に来場者のアンケートをとると広報いちかわというのが断然認知度が高い状況です。多分、他のイベントでもそうだったと思うのですが、今、広報いちかわは一昨年度くらいから週1回だったのが月2回になりましたね。基本的には歯科医師会から保健センター等を通じて広報広聴課をお願いしてでないとスペースがとれないというのが多くなってきています、それ以降。

そういう部分での今チラシにけるお金を実は広報いちかわにかけた方が有効なんじゃないかということの調査というのは、これは保健医療課の仕事ではないですけども、市全体としてはそういう調査はなさっているのでしょうか。広報広聴課の仕事ですよ。

【清水委員】

確かに、広報は有効ですよ。何か行事をやると広報を見て連絡したということがありますね。

【事務局】

若い方は広報をあまり見ていないんですけども。

【石井委員】

そこに付随する広報いちかわの記事というのは今 SNS、私なんかもそれを見る機会も多いですので、そこから若い人達はそちらから見ていると思うので、まずは広報いちかわが動いて、それに連動して SNS が動いていくという形だと思うので、やはりそのベースになるところはしっかりしていただかないとなかなか全体の年齢層を含めた周知というものが難しいのではないかと思いますので、そういうところも市として再検討していただけるとこちらも事業側としても役に立つのではないかと思います。

【事務局】

はい、わかりました。貴重なご意見ありがとうございました。

【寺澤委員】

若い人はネットで見たりとかするんですけど、今、高齢者で新聞をとっている人ってすごく少なくなっていると思うんですね。それで、広報を見たことのない、という高齢者が結構多いと思うんですね。広報広聴課で広報を配るという方法、公民館とかそういうところには置いているんだけど、なかなかそこへ行って見る機会がないと、広報でこ

ういうことをやっているんだということを知らなかったという高齢者が結構多いと思うので、若い方々や高齢者の方に色々なところで広報が配れる方法をできたら考えていただければと思いました。

【事務局】

はい、ありがとうございました。

【岩井保健医療課長】

今のお話なんですけれども、今もやっていると思いますが、新聞をとってない方も確かに多いので、そういう方は広報広聴課へ希望されると、個別に郵送してくれるという制度があります。もしいらっしゃれば、确实ではないですが。

【事務局】

調べます。

【座長】

広報を有効に活用するという事でご検討いただければと思います。

それでは、時間も過ぎておりますので、次の議題に入ります。(2) 健康都市推進活動についてご説明をお願いします。

【事務局】

それでは、健康都市推進活動についてご報告いたします。資料6をご覧ください。

健康都市推進講座の、28年度から30年度までの3年間の講座内容と実績になります。今年度は「健康で長生きするために」をテーマとし、健康づくりのための、栄養、運動、心の健康、社会参加に関する講義や実技を実施いたしました。

次に、資料7をご覧ください。健康都市推進委員の今年度活動内容です。昨年に引き続き、健康都市推進委員会が主催し、「防災と健康」をテーマとし、健康フェスタを開催いたしました、大変盛況で、会場いっぱいの来場者が熱心に講演を聴き、楽しく、タオル体操や体力測定を行いました。

また、健康都市推進員の地区活動として学童保育クラブへ出向き、割箸ゴム鉄砲つくりを子供達に教え、昔遊びを楽しんでもらいました。その他の地区活動として、ミニ運動会、終活セミナー、ウォーキングイベントを行いました。健康都市推進活動の報告は以上です。

【座長】

ありがとうございました。健康都市推進活動について、ご質問等ありますか。よろし

いでしょうか。

講座が開かれ、さらに推進員の活動が活発に行われているという事でした。

それでは続いて、皆様の所属する団体やこれまでの「健康いちかわ21」や健康都市に関する市の取り組みについてお考え等ありましたら、お話しいただきたいと思います。

皆様の団体活動の紹介それから、「健康いちかわ21」等の市の取り組みについてご意見ありましたら順にお願いしたいと思います。それでは岩澤委員からお願いいたします。

【岩澤委員】

市川市医師会といたしましては、引き続きにはなりますけども「健康いちかわ21」の取り組みに対して、生活習慣病の状況に関して、主に取り組んでいきたいと思います。具体的に行っている内容は、いま国や県から糖尿病成人症の重症化予防事業がありまして、早い話が糖尿病になって、重症化になると腎臓が悪くなって透析になるのを防ぎましょうという話ですが、市の協力を仰ぎながら連携も含めて対策を行っていきたく思い進んでいます。

あとは、配布資料にもありますが、「健康増進法の一部を改正する法律」の受動喫煙がありますが、こちらも話題になっていて、煙草の害を減らそうということで、敷地内禁煙や飲食店禁煙を進めていく事をオリンピックに向けて国を挙げて進めているところです。

【石井委員】

歯科医師会は、この中でも各事業の課題としても出てくるように「フレイル」の問題ですけれども、フレイル以前のサルコペニアを防止するためにはまず、「オーラルフレイル」、口腔の虚弱が問題になっている事に着目しています。国からも昨年、口腔機能低下症という新たな病名をつけて頂きましたので、そちらに対して、我々会員に向けてもきちんとした理解を求めておりますし、それをまた市民の方にも理解をして頂くように、先日も保健センターで研修会を行って頂き、私も参加しましたので、行政含めて活動していく予定です。また、最後のところで「防災と健康」について出ていましたが、防災に関して、我々も準備をしている最中です。

【寺澤委員】

薬剤師会は、例年通りの行事を行っています。先日、市と組んで「てるぼサロン」というところの地区ごとの集まりに呼んで頂いたときは、高齢者の方の薬の飲み方や、介護の分からないところの質問を頂いてお答えするなどの参加をしています。

【坂本委員】

健康福祉センターは、千葉県でも「健康ちば21」の中間見直しを行ったのですが、糖尿病成人症の人工透析率を減らすことを目標にしていたのですが、残念ながら増えてしまったという中間評価になっています。岩澤委員からもお話がありましたが、千葉県では、平成29年度に千葉県の糖尿病成人症の重症化プログラムを発表しましたので、三師会からお力を頂き、市川市と協力して、重症化プログラムの展開を進めていきたいと思っています。

【青山委員】

市川ライフネットワーククラブの関連事業として、特に力を入れているタウンマネジメントオフィサーを市川市と共同事業でやっていますが、こちらでは、食を通じての健康増進や精神的健全な子供の教育を外の遊びを通してやっている方たちが出てきております。単なる活動をするだけではなくて、先般も麴を使って食を広めるTMOの修了生が、市川の「レディースビジネスコンテスト」で最優秀賞を頂いたり、千葉県の起業家ビジネスコンテストでもベスト5に入り、副賞として3名が入賞したということがあります。彼女ら、彼らが活動している部分というのは、ここが求めている横串の活動です。こういったものが、市川の町の中に市民レベルの活動で点在している方がかなり増えてきています。今後、情報として市川市に提供してまいりますので、こういった活動をしている方々は、健康増進に役立っているメンバーの一人として、活用と言っては失礼ですが、より市民に広めるためにフォロワーを育てて頂きたいので、連絡を密にして協働していきたいと思っております。

【後藤委員】

私ども民生委員は、月に一度地区での会議がありまして、民生委員会の他に、地区に係る中学校、小学校の先生方との児童委員会として話し合いがありまして、その中でプリントを持参して下さるので、その中でたまたま、ある小学校で、「〇〇日は食育の日」と書いてあり、どういうことかと伺ったら、子供たちが給食をなるべく残さず、好き嫌いをなくみんな食べるようにとお稽古する日との事でした。もしちゃんと食べられたときはシールを頂いてたくさん集めるという事でした。嫌いなものを無理して食べるのはとても苦な事もあるのではないかと思ったのですが、シールということもあり、子供達に好き嫌いを無くす事を進めていると聞きまして、そういうので子供達に元気になってもらいたいなと思っております。

【栗岡委員】

健康都市推進員会です。先程の説明にもありましたが、昨年からはヘルシーパートナーズさんと協力して色々行事をすすめています。特に健康フェスタについては、体力測定

に関心がございまして、また来年も来るからよろしく！という方もいます。他にも、高齢者ばかりでなく子供達にも昔の遊びというものを、割箸ゴム鉄砲のように、できるだけ家庭にある物で作って、的を撃って楽しむ、そして改良して楽しむという風に与えられた物ではなく、自分たちで考えてもらいながらやろうと思って進めています。現在、会員が52人なので、3グループに分かれて進めようと思っているのですが、人数が少ないため、会員が増えるように取り組みたいと思っています。特に感じるのは、会員の女性が非常に熱心で、細かいことまで言って下さるので、きめ細かいことが色々できるのではないかと思っています。これからも健康フェスタを続けて行きたいと思います。みなさんご協力をよろしくお願いいたします。

【加藤委員】

保健推進員は月一度集まった時に色々な勉強会をしています。その中でも、先程も出た「タオル体操」、その他健康寿命ということが出ましたが、健康寿命だけでなく発達障害やそういった前までは分からなかったようなことに関しても影響があると思いつつながら運動させていただいている部分もあります。専門家ではないのではっきりとは公言できませんが、違う所の発達障害などの勉強会に出席すると、同じような体操が出ています。てるぼサロンもそうですし、外遊びの会の方とか、色々なことが出ていると思います。そういう場を覗いて、味わって頂きながら、これがそうかなというものを模索して頂きたいというのがひとつです。

【石黒委員】

食生活推進員、私達は、別名ヘルスマイトと言いまして、年に2回料理講習会をしております。それと、市で企画されたもので体操教室や男性向けの講習会もお手伝いしています。今、健康都市推進員さんの活動の話がありましたが、毎年2校、食育として親子クッキングをしているんですが、前回健康都市推進担当からの紹介で山崎パン(株)とコラボをした教室が大変好評でした。バスケットチームのコーチの方がすごく気に入っていただきました。

それから高橋委員が「1皿がどれくらい分からない」と言われましたが、私たちは1日の野菜350g、講習会があったら生野菜を測ってもらって1日これくらい食べるんですよ、というのがすぐ頭に浮かぶのですが、家庭内でこれ何グラムだよ、と言っては出さないで、自分は分かっているけど家庭から改革していかなければならいのかなと思いました。あと、とても素晴らしい「健康いちかわ21」なのですが、私たちは市民の方の一番近くにいますので、話をするとき、チラシを作るときに、それを絡めてチラシを作れたら、もう少し、こういう企画をやっているということをお年寄りから若い方にまで啓発できるのではないかと思いました。

【高橋委員】

スポーツ推進員の活動ですが、我々は文化スポーツ部スポーツ課に属しておりまして、施設は学校関連の体育館、役所のグラウンドを利用して、市民の方に無料でスポーツを楽しんでもらう。運動に縁遠い、トレーニングジムに行けない、土日しか動けない、そういう方たちに無料で色んな球技スポーツ、グラウンドで走ったり等の種目を、全て無料で役所から施設を借りて我々90人が活動中。中央行事で年に3回やったり、変わったところでは、キャンプです。広報いちかわを通じて抽選で10組を呼ぶ。そこで軽スポーツを組んでやったりしています。基本的には、「無料」が集客力・キャッチフレーズとして最高なので。そこに専門的に競技スポーツに関わっている者もいますが、スポーツが嫌いにならない程度に、来た方とにかく楽しんで頂くかをメインとしている。

スポーツ基本法改正で我々に関する事は、これからは主催・運営だけでなく、他組織とのコーディネーターとして協働するようにと、国から指令が出されました。十分な知識を習得して、48万市川市民の何パーセントにチャレンジできるか分かりませんが、とにかく出前に行ったり、あとは、市内13地区に分かれているのですが、週2回やっている組織があったり、月1回だったり、各地区バラバラですが、時々中央行事に6割が集まって企画運営・情報交換しています。

問題なのは、健康でなければスポーツができないものですから、スポーツをしている方は健康、ということで100%目標は達成しているのではないかと思います。10年前から障害者の方への出前として、障害者の方と接する方法については、千葉県で講習を受けたりライセンスを取ったりする仲間も増えていきますので、これも東京オリンピック大会の来年の関係だとは思いますがそういった活動をしています。

【清水委員】

体育協会といたしまして競技スポーツを担当しています。私は、色々問題のある「心の健康」が最重要だと感じておりまして、要するにマスコミの餌食にならないことが第一の課題です。競技力向上は当然ですけど、マスコミの餌食にならないように心の健康を重点にお願いしています。健康でなければ何事もできないということで頑張っているところです。

【座長】

ありがとうございました。病気の予防から、健康な人たちも病気の人たちもスポーツ等で体を動かしてというお話を伺いました。それぞれ市の庁内プロジェクト会議で連携しているということですが、皆さんの連携をとって、あるいは保育園に行っていたり市民レベルで活発に活動されている方を上手に効果的に一緒にできるような仕組みができるとよろしいかと思いました。ありがとうございました。

以上で議事を終わります。他にご意見等ある方いらっしゃいますか？

【加藤委員】

初めて出席させて頂いて、分からないのでひとつ伺いたいのですが、学校のお子さんたちは何割くらい朝食を召し上がっているのか。親御さんたちは会社で朝食を出していただけたり、大学生も学食を朝から出して頂けるという情報はありますが、幼稚園から小学生の方たちは、本当のところどれほど召し上がっているのかを伺いたいです。

【事務局】

朝食の欠食率の調査等は食育計画の中で年代ごと、小学生・中学生・高校生などを出しておりまして、調べればお出しすることは出来ますが、おおよそ小学生までの朝食の摂取率はかなり高いです。9割程度は食べていますが、高校生・大学生になると欠食率は高くなり、朝食を食べていない人は増えているように記憶しています。細かい数字は参考資料としてお持ちします。

【座長】

ありがとうございました。それでは、以上で議事は終了いたします。事務局よりいくつか説明があるそうですのでお願いいたします。

【岩井保健医療課長】

藤澤委員におかれましては、座長を務めていただきありがとうございました。

先程、寺澤委員よりお話のありました、広報の件を確認しましたが、新聞を取られていない方で希望のある方は、広報広聴課に申し出て頂ければ自宅に配送するという事を確認とりました。市川市は48万人の人口で世帯は25万3,000世帯あります。新聞の折り込みをしているのが11万7,350世帯だそうで、約半分です。2紙、3紙取られている方がいるので厳密には正確ではありませんが、約半分の方が新聞を取られていない世帯です。その状況で高齢者の方を含め市の情報を知りたい場合、スマホやパソコン以外で情報収集する方法は広報しかないと思います。皆様のお近くの方で情報を取得することができないということであればこのような方法がありますので、お報せして頂ければありがたいです。

最後に、こちらの事務局より事務連絡をいたします。

【事務局】

委員のみなさま、貴重なご意見をありがとうございました。頂いたさまざまなお意見は、庁内プロジェクト会議にフィードバックし、「健康いちかわ21」の推進をさらに進めてまいりたいと思います。また健康都市推進講座や健康都市推進員の活動につきましても、今後さらに充実した内容となりますように検討をしてご意見をいただきながら活

動していきたいと思います。

本日何点か配布している資料について説明いたします。

資料 8 として「受動喫煙防止対策に関連する法律の概要の一部」を今日は配布させていただきました。「健康増進法の一部を改正する法律」というのが昨年の 7 月に国から公布されまして、段階的にこの法律が施行されていきます。受動喫煙による健康被害というのは大変大きいというのがわかっておりまして、望まない受動喫煙を防いでいくという事が非常に叫ばれております。こちらにつきましても今後啓発を行ってまいりましてそういった被害にあわないような活動を進めていきたいと思います。

こちらの関連として、使い捨てカイロ、ポケットティッシュ、うちわ、COPD に関するチラシをお手元に配布いたしました。これらは全て千葉県で作成した啓発品でこちらを利用させていただいて、様々な場で周知を図っているところです。

この法律の趣旨としては、①「望まない受動喫煙」をなくす、②受動喫煙による健康影響が大きい子どもや患者等に特に配慮していく、③施設の類型・場所ごとに対策を実施していくこと、とされており、具体的には、多数の者が利用する施設においては、敷地内禁煙もしくは、建物内禁煙となります。特に学校・病院・児童福祉施設、行政機関は、一部例外規定はありますが、敷地内禁煙となります。

この受動喫煙対策につきましては、本市といたしましても法改正に従いまして、受動喫煙防止に関する周知・啓発を積極的に行っていく予定です。本日配布させていただいた啓発物資につきまして、在庫が少しございますので、希望される団体の方がいらっしゃいましたら、事務局までお声かけください。

続いて、4 月 13 日と 14 日に開催されます、第 13 回下総・江戸川ツーデーマーチのご案内を配布させていただきました。こちらは「健康都市いちかわ」ということで、主催者の下総・江戸川ツーデーマーチ実行委員会から後援についての申請がありましたので、例年通り事務局で受付させていただきました。

また、先程「健康ちば 21」の中間評価があったという事でお話もあったかと思いますが、県が作成したリーフレットをお配りさせていただきました。「健康いちかわ 21」も中間年に向けて取り組みを行い、評価をして、周知していくべきところ、不足しているところをよりできるようにしていきたいと思います。

新しい委員の方等で市川市の「健康いちかわ 21」の冊子をお持ちでない方は声をかけて頂ければお渡しいたします。

最後になりますが、先程も、親子教室・料理教室で、山崎パンさんとのイベントが好評だったとのことで、民間との協働も多くなっており、そういった活動も含めて健康都市いちかわの活動をしておりますので、皆様のご協力頂きながら進めていきたいと思っております。本日はありがとうございました。

【岩井保健医療課長】

以上を持ちまして、本日の予定は終了いたしましたので、「平成 30 年度 市川市健康都市推進協議会」は、これを持ちまして終了いたします。本日は、お忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございました。

以上